



周南たちばな学園 幼保小のかけ橋期のカリキュラム（令和7年度版）

学園教育目標 【夢を見出し、未来をひらく子ども】

学園の重点

袋井市の重点

アプローチカリキュラム（5歳児）

袋井市かけ橋期の重点【試したり、考えたり、伝え合ったりする】学園が目指すこども像(育てたい資質・能力)【他者と協働する 主体的に行動する 自他を理解する】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
ステージ	I		II		III		IV									
育つ 童てのほ ほしい姿	知識及び技能の基礎	年長になった喜びと意欲をもって生活する 気持ちよく生活するために必要なことに気付き、自分で取り組む				就学に期待をもち、自信をもって生活する										
	思考力・判断力・表現力等の基礎	考えたり、試したりして友達と遊ぶことを楽しむ 好奇心や探究心をもって身近な事象に自分から関わる				目的に向かって、実現するための方法を考えて工夫して遊ぶ										
	学びに向かう力・人間性等	友達と体験を積み重ね、物事にじっくり取り組む				友達と共に遊ぶ良さを味わい、関わりを広げる				友達と意欲的に遊びに取り組み、協力してやり遂げる楽しさを味わう						
育みたい 資質・能力	知識及び技能の基礎	身の回りを整える必要性が分かり自ら取り組む。(健康・自立)		積極的に身体を動かし、様々な活動に取り組む。(健康・自立)				時間や活動を意識しながら見通しをもって生活を進める。(健康・自立・道徳・社会)								
	相手の立場に立って、考えて行動する。(道徳・社会)		きまりの必要性が分かり、守ったり考え合ったりする。(自立・道徳・社会)				自分のよさに気付き、自信をもって行動する。(自立)									
	絵本や物語に親しみ、言葉のもつ意味やおもしろさなどに気付く。(言葉)															
育みたい 資質・能力	思考力・判断力・表現力等の基礎	身近な事象に積極的に関わり、自ら気付いたり発見を楽しんだりする。(思考・自然・数量)		感じたことや考えたことを様々な方法で表現することを楽しむ。(表現・言葉・思考)		共通の目的に向かって考え、工夫したり協力したりする。(協同・思考・言葉)										
	自分の思いを言葉で伝えたり、友達の思いや考えを聞いたりする。(思考・言葉)		予想をしたり確かめたりして事象への関わりを楽しむ。(思考・自然・数量・表現)		自分の体験や友達の考えを生かして、自分の考えを広げて楽しむ。(思考・言葉)		自分の思いや考えを相手に分かるように言葉で伝えたり、相手の話を理解して行動したりする。(言葉・表現・思考・自立)									
	友達と相談しながら工夫し合って表現する過程を楽しむ。(表現・言葉・協同・思考)															
育みたい 資質・能力	学びに向かう力・人間性等	興味や関心をもって試行錯誤しながら遊びを楽しむ。(自立・思考)		様々なことに繰り返し取り組み、諦めずにやり遂げる達成感を味わう。(自立)		互いの思いや考えを認め合い、友達と遊びを進めることを楽しむ。(協同・言葉・社会)										
	身近な動植物に触れ、命を大切にしようとする。(自然・道徳)		いろいろな人と触れ合い関わる中で、地域の人に親しみをもつ。(社会)		自分の気持ちに折り合いをつけながら生活しようとする。(道徳)		自分の気持ちに折り合いをつけながら生活しようとする。(社会・道徳)									
	生活の中にある図形や数量に触れたり親しんだりして、興味・関心を高める。(数量・思考)		身近な自然に触れ、不思議に感じたことを試したり調べたりして関心を高める。(自然・思考・表現)		身近にある文字や数などに興味・関心をもち、生活に取り入れようとする。(数量)											

《幼児期の終わりまでに育つてほしい姿》 (健康) 健康な心と体 (自立) 自立心 (協同) 協同性 (道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (社会) 社会生活との関わり
(思考) 思考力の芽生え (自然) 自然との関わり・生命尊重 (数量) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (言葉) 言葉による伝え合い (表現) 豊かな感性と表現

指導上の配慮事項	☆環境構成の工夫	☆やってみたい気持ちが実現していくような環境を構成する。 ☆文字や数字、記号など生活の中で身近に感じられるようにする。(当番表・片付け明示・誕生表等) ○進級した喜びを十分に味わわせ、自信をもつて行動できるようにする。 ○生活の中で気付いたことをきっかけとして、自分たちで約束等をつくり出せるようにする。	☆○自分たちで考え、やってみたいと思えるような場を多く設定しその内で自分の力を十分発揮できるようにする。 ☆不思議に感じたことを共感し、調べて分かることの楽しさを感じられる場をつくる。(図鑑や絵本・ICT活用等) ○知っている知識や情報を活かし、関心を継続できるようにする。 ○意見のぶつかり合いや葛藤を大切にしていく。自分で乗り越えられるように見守ったり気持ちを支えたりする。	☆挑戦しようとする気持ちを受け止めた環境を構成する。 ☆グループでの取り組みの中で、一人一人が自己を発揮し、互いの良さや考えにふれて、協同して遊べるような機会を意図的に設ける。 ☆難しいことに向かって、友達と一緒に工夫して乗り越えていく場をつくっていく。 ○目的が明確に決まっているようにする。一人一人の頑張りをクラスの子どもに知らせ、良さに気付かせたり頑張りを喜び合ったりする。 ○関わりの中で互いの思いを理解できるように相手の言葉や表情、行動に関心を向けられるようにする。	☆一人一人が興味をもって、1日や週の見通しが分かって行動できるような表示を工夫する。 ☆友達と一緒に力を合わせて取り組んできたことや目的が達成されたことへの喜びが味わえるような生活をつくる。 ○自分たちで生活を進めている充実感が味わえるようにする。 ○共通の目的に向かって意見や考えを出し合うことができるようになる。
	○保育者のかかわり				
	多様性への配慮	年間を通して ◆前年度担任や保護者からの情報をもとに、安心して生活できる環境を工夫する。 ◆園内就学支援会議を開催したり小学校の特別支援コーディネーターや専門機関と連携を図ったりして、就学につながる支援方法を工夫する。	◆一人一人の子どもに寄り添い、生活しやすい環境を整える。 ◆個々の課題を踏まえつつ、他の子どもとつながり、安心して過ごせるようにする。		
家庭との連携	・進級に対する不安への対応を図る。 ・1年間の見通しを知らせたり、面談で保護者の願いを聞いたりする。	・自分の力で生活を進める大切さを伝え、励ます、見守るなどの連携を図る。 ・子ども同士で起こった出来事については丁寧に伝え、関わりの中での学びを知らせて理解につなげる。	・遊びを通して様々な意欲が引き出されることを伝える。 ・友達との活動を通して協同性が育まれ小学校生活や学習の基盤となることを伝えしていく。	・就学に向けて生活習慣を園と家庭で見直し、身に付けられるような生活を促す。 ・懇談会や入学説明会で、スタートカリキュラムの説明を行い、入学に向けて不安や疑問を解消できるようにする。	
	多様性への配慮	年間を通して ◆定期的な面談の場を設けて信頼関係を深め、支援方法の共有や理解を進めしていく。 ◆小学校の特別支援コーディネーターを招き、保護者に小学校の特別支援体制について話をもらう場を設け、理解の促進を図る。	◆保護者の願いを受け止めながら引継ぎを丁寧に行い、安心して就学につなげられるようにする。		



周南たちばな学園 幼保小のかけ橋期のカリキュラム（令和7年度版）

学園教育目標 【夢を見出し、未来をひらく子ども】

学園の重点

袋井市の重点

スタートカリキュラム(1年生)

袋井市かけ橋期の重点【試したり、考えたり、伝え合ったりする】学園が目指す子ども像(育てたい資質・能力)【他者と協働する 主体的に行動する 自他を理解する】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ステージ	V												
育つ 童のほ ほしい 姿	知識及び技能	小学校の生活のルールや学習の仕方を理解し、楽しく生活する											
	思考力・判断力・表現力等	小学校の学習や活動に取り組む中で、気付いたことを発表する											
	学びに向かう力・人間性等	自分でできることや新たな活動に、進んで取り組もうとする											
育成を 目指す 資質・能 力	知識及び技能	小学校の生活の流れを知り、安全に過ごす。(健康・自立) → めあてに向かって進んで体を動かして運動し、元気に生活する。(健康・自立)											
		楽しく生活するために大切なルールを理解する。(自立・道徳・社会) → 生活のリズムを身に付け、ルールやマナーを守って健康で安全に過ごす。(健康・自立・道徳・社会)											
		身の回りの整頓や活動の準備・片付けなどに自分から取り組む。(自立) → 係や当番活動などの学級の仕事を進んで行う。(自立・協同)											
		ひらがなや10までの数を理解し、読んだり書いたり、数えたりする。(数量) → かたかなや漢字に興味を持ち、使い方を知ったり、書いたり読んだりする。(数量)											
		地域の場所や自然、人々に親しみをもち、適切に接する。(社会・自然) → 植物の栽培を通して、生命をもっていることや成長に気付く。(自然)											
	思考力・判断力・表現力等	「比べる」「並べる」「分ける」などの思考スキルを身に付けて自分の考えを深める。(自立・思考) → 数量の関係する場面を図で考え、式や言葉で表して解決する。(思考・数量・言葉)											
		自分と友達の考えを比べ、賛成・反対など自分の考えをはっきりさせ、その理由を説明する。(協同・思考・言葉) → 新しい1年生に、様々な方法で学校のことを分かりやすく工夫しながら伝える。(協同・社会・思考・言葉・表現)											
		新しい1年生に、様々な方法で学校のことを分かりやすく工夫しながら伝える。(協同・社会・思考・言葉・表現)											
	学びに向かう力・人間性等	新たな友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを味わう。(自立・協同・社会) → 友達や先生に挨拶したり、親しみをもって関わろうとする。(自立・協同・社会)											
		地域で出会う様々な出来事や人に興味をもち、進んで関わろうとする。(自立・社会) → 友達と意見を交わし、新しい考え方や活動を協力して生み出そうとする。(自立・協同・言葉)											

《 幼児期の終わりまでに育つほしい姿 》	(健康) 健康な心と体 (思考) 思考力の芽生え	(自立) 自立心 (自然) 自然との関わり・生命尊重	(協同) 協同性 (数量) 数量や图形、標識や文字などへの関心・感覚	(道徳) 道徳性・規範意識の芽生え (言葉) 言葉による伝え合い	(社会) 社会生活との関わり (表現) 豊かな感性と表現
----------------------	-----------------------------	-------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------

指導上の配慮事項	<p>・15分単位の短い時間や2時間続きの活動を取り入れ、次第に45分間の学習時間に慣れていくように柔軟な時間設定を実施する。 ・児童が親しんでいた園での生活リズムに配慮し、自由遊びができる時間を確保する。 ・身の回りの整頓や活動の準備・片付けなどに自分から取り組む。 ・係や当番活動などの学級の仕事を任せ、よい表れを認め、次への意欲を高める。 ・生活科の学習を中心に、国語科・算数科・音楽科・図工科などの各教科を科別に連携した学習を進め、互いの学習で得た学びが生かされる活動を計画する。 ・進学した喜びを充分に味わせ、目標をもって自分から行動できるようにする。 ・各学年の児童や教職員が関わり、学校全体で1年生を見守っていく体制をつくる。 ・日課やきまりについて、規則に訴える掲示物を工夫することで、新しい環境に早く適応できるようにする。 ・ICTを効果的に活用し、自分なりの考えをもち、伝え合うことができるようになる。 ・活動後にはふり返りの時間を確保する。</p>	<p>・挨拶や声かけを大切にし、習慣化することで、進んで友達と関わる学級づくりをすすめていく。 ・児童が親しんでいた園での生活リズムに配慮し、自由遊びができる時間を確保する。 ・身の回りの整頓や活動の準備・片付けなどに自分から取り組む。 ・係や当番活動などの学級の仕事を任せ、よい表れを認め、次への意欲を高める。 ・生活科の学習を中心に、国語科・算数科・音楽科・図工科などの各教科を科別に連携した学習を進め、互いの学習で得た学びが生かされる活動を計画する。 ・進学した喜びを充分に味わせ、目標をもって自分から行動できるようにする。 ・各学年の児童や教職員が関わり、学校全体で1年生を見守っていく体制をつくる。 ・日課やきまりについて、規則に訴える掲示物を工夫することで、新しい環境に早く適応できるようにする。 ・ICTを効果的に活用し、自分なりの考えをもち、伝え合うことができるようになる。 ・活動後にはふり返りの時間を確保する。</p>	<p>・「学習課題の確認」「自分で考える」「ペアやグループ、クラス全体での交流」「まとめとふりかえり」という学習サイクルを身につける。 ・課題解決を助ける思考ツールを段階的に取り入れる。 ・運動会や交流会などの行事への取組の中で、子どもの挑戦しようとする気持ちを受け止めて支援し、達成感を味わわせて自信をもたせる。 ・少し難しいことにも向き合い、友達と協力して工夫し、乗り越えられるようにする。 ・園の思いを理解し尊重できるように、相手の言葉や表情、行動から考えられるように指導・支援する。 ・一人一人の頑張りを認め、互いに伝え合う場を設定する。 ・進学した喜びを充分に味わせ、目標をもって自分から行動できるようにする。 ・各学年の児童や教職員が関わり、学校全体で1年生を見守っていく体制をつくる。 ・日課やきまりについて、規則に訴える掲示物を工夫することで、新しい環境に早く適応できるようにする。 ・ICTを効果的に活用し、自分なりの考えをもち、伝え合うことができるようになる。 ・活動後にはふり返りの時間を確保する。</p>	<p>・「くらべる」「ならべる」「りゆう・わけ」「分ける」などの思考スキルを身に付けて自分の考えを深める。 ・一人一人が週や一日の見通しをもって、自分で行動できるような表示をする。 ・友達と力を合わせて取り組んできたことや、目的が達成されたことに対する喜びが感じられるような活動や環境の工夫をする。 ・児童が1年間の自分の成長に気付き、自分のよさを実感できるように、児童の作品やカード、写真などを用意する。 ・自分たちの成長を支えてくれた6年生や見守り・学習のボランティアへの感謝の気持ちを伝える活動を考えさせる。 ・新1年生を迎える準備をとおして、進級への喜びや自覚をもたせる。</p>
----------	---	---	--	--

多様性への配慮	<p>年間を通して</p> <p>◆ 前年度担任や保護者からの情報をもとに、安心して生活できるような環境を工夫する。</p> <p>◆ 保幼ご園や専門機関と連携を図ることで、多様性や特別な配慮が必要な児童の支援の方法を考えいく。</p>				
家庭との連携 多様性への配慮	<p>授業参観等で、スタートカリキュラムによる学び・生活の様子を見てもらう。</p> <p>・1週間にごとに学年通信で学習の予定や児童の様子を伝え、保護者が学校生活の見通しを持ち、安心できるようにする。</p> <p>・個別面談等で、保護者の願いを聞いたり児童の様子を伝えたりする。</p> <p>・自分で生活を進める大切さを伝え、励ます、見守るなどの連携を図る。</p> <p>・子どもも間で起こった出来事について丁寧に受け止め、関わりの中での学びであることを知らせ、理解につなげる。</p> <p>・家庭学習のねらいや方法について学年通信で丁寧に伝え、見届けや励ましへの協力を依頼する。</p>				